



白石町立有明西小学校 学校だより

児童数 106名

令和7年度 第21号

発行日 令和7年9月12日

にしきえ

(長子配布)

人との関わりを大切にしながら、よく学びよく遊ぶ、幸せいっぱいの西小っ子
～新たなスタート2026へつなごう “にしきえの心”

明日から3連休です

明日から3連休にはいます。大切な命が守れるように、ご家庭での見守りをよろしくお願いいたします。特に・・・

- ・ヘルメット着用、飛び出しをしない。・つりは大人と一緒にする
- ・スマホの約束を守る ・知らない人についていかない

平和への祈りを込めて折り鶴づくりに取り組みました

9月9日の朝の時間に、たてわり班ごとに平和への祈りを込めて折り鶴に取り組みました。この折り鶴は、11月に長崎へ修学旅行に行く6年生が、平和公園に捧げます。6年生の皆さん、折り鶴づくりのお世話ご苦労様でした。



良好な親子関係を育むために

子どもがのびのびと育つためには、家庭のあたたかな関係づくりが大切です。難しいことではなく、毎日のちょっとした工夫の積み重ねで十分です。

・安心感を与える

失敗しても受け止めてもらえると、子どもは安心して自分を表現できます。

・話を聞く時間をもつ、コミュニケーションをとる

「今日はどんなことが楽しかった？」と具体的にたずねると、会話が広がります。ちょっとした一言が大切ですね。

・一緒に時間を楽しむ

食事や散歩、遊びなど、ちょっとした時間の共有が心を近づけます。

・気持ちや意見を尊重する

子どもの考えをまず受け止めることで、信頼が深まります。

・親の姿が手本に

約束を守る、丁寧な言葉づかいをする…そんな姿から子どもは学びます。

子どもと過ごせる時間はあっという間に過ぎていきます。

「ちょっと聞いてみよう」「一緒にやってみよう」——そんな小さな心がけが、

親子の絆をより豊かにしていきます。

～悪いことと分かっているのに～

子どもは「それがよくないこと」と頭では分かっているのに、つい行動に移してしまうことがあります。

例えば、うそをつく、宿題を後回しにする、らくがきをする、スマホのやくそくをやぶるなど・・・。

これは、まだ気持ちをコントロールする力が育っている途中だからです。わざと悪いことをして気を引こうとしていることもあります。

そんなときは、

・まず「気持ちを受け止める」

「やりたくなかったんだね」「腹が立ったんだね」と共感する。

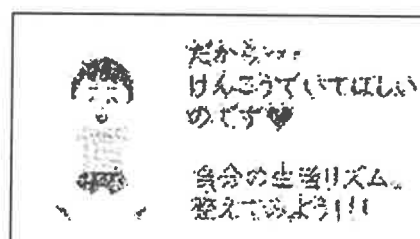
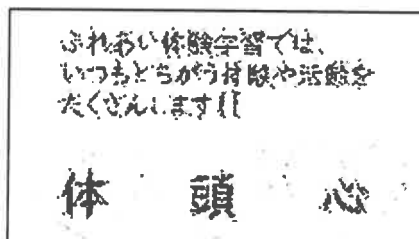
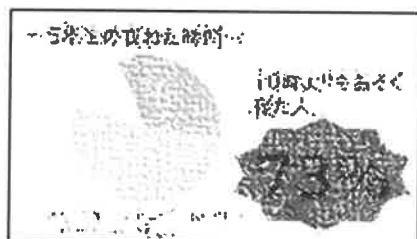
・そのうえで「どうしたらよかったかな？」と一緒に考える

自分で解決の糸口を見つける経験が成長につながります。

大人でも「分かっているけどやめられない」ことがありますよね。子どもにとってはなおさら自然なこと。大切なのは、失敗を責めるよりも「次にどう生かすか」を一緒に考えることです。しっかりと寄り添うことです。・・・上記の文章を書きながら、自分の子育てを振り返り、今日も反省、反省です。

5年生宿泊学習に向けた養護教諭による「保健指導」

5年生は、9月25.26日の波戸岬少年自然の家での「宿泊学習」に向け、いろいろな準備を行っています。体調万全で宿泊学習に臨んで欲しいと願っています。9月5日、事前学習の一つとして、養護教諭と担任の指導による健康面についての授業を行いました。2日間元気に安全に活動するためには、日頃から十分に睡眠をとることや朝食をとること、適度に運動をすることなどが大切です。ご家庭での基本的な生活習慣の定着のためにご協力ください



2学期の算数タイム・丸つけ先生スタート

2学期の算数タイム・丸つけ先生が9月5日にスタートしました。丸つけ先生、今学期もどうぞよろしくお願いします。本校では、算数科の基礎・基本の定着と活用力向上をめざす目的で、毎週金曜日に「算数タイム」8:20～8:30に取り組んでいます。子どもたちは算数問題集に取り組み、地域の「学びのサポーター(丸つけ先生)」に丸つけをしていただき、間違えたら書き直しをします。お忙しい中、子どもたちのために丸つけありがとうございます。ただいま「丸つけ先生」と「読み聞かせ」のサポーターさんを募集中です。お手伝いできる地域の皆様、学校へご連絡いただけると幸いです。

